

第2次那須塩原市総合計画 第4回 審議会

開催年月日：平成28年6月1日(水)

開催時間：14時00分～15時30分

開催場所：那須塩原市役所西那須野庁舎301～303会議室

委員

No.	氏名	出欠	No.	氏名	出欠
1	阿久津 裕		16	佐藤 幹雄	○
2	網代 用子	○	17	佐藤 由紀子	○
3	安宅 勝	○	18	澤田 友喜	○
4	伊澤 昭夫	○	19	相馬 賢市	
5	石下 かをり		20	高久 結理	
6	薄井 海雄	○	21	高松 英樹	○
7	榎本 建司	○	22	西田 由紀子	○
8	大島 三千三	○	23	樋山 則男	○
9	大野 昌弘	○	24	平山 博	
10	菊池 太輔		25	村山 茂	
11	君島 章男	○	26	室越 礼一	○
12	君島 正三	○	27	目黒 ケイ子	
13	君島 将介		28	柳場 美枝子	
14	君島 理恵		29	山島 哲夫	○
15	越石 直子	○	30	渡邊 亮	○

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

【会長】

それでは、議事に入りたいと思います。

(1) 第2次那須塩原市総合計画基本構想(案)及び(2)第2次那須塩原市総合計画前期基本計画の策定方針について説明をお願いします。

(1) 第2次那須塩原市総合計画基本構想(案)について

(2) 第2次那須塩原市総合計画前期基本計画の策定方針について

(資料1～資料3について事務局説明)

【会長】

どうもありがとうございました。

今までの説明の中で、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

【委員】

資料2の2ページの5、計画の進行管理について、実施計画の計画期間が2年間でそれを毎年度作成するとなっておりますが、2年ごとに2年分を作成ではなくて、毎年度作成という点と、目標値及びその進捗管理の方法が分かりにくいので、教えていただければと思います。

【事務局】

実施計画につきましては、計画期間2年間ということで、基本計画の初年度には29年、30年という2年の計画を作ります。そこには実際に進めていく事業スケジュールや事業費などが記載されます。次年度には30年、31年という2年の計画を作っていくこととなります。そうしますと重複する年度が出ますので、事務事業評価を合わせて実施して、実際の進捗状況について把握、検証しながらより良い進め方を考えていくこととなります。

【会長】

2年毎に計画は作っていくけど、毎年チェックをして次の2年分を計画していくということですね。

【委員】

目標値は、2年間の数値目標を立てて、1年間で検証するということですか。

【事務局】

目標値については、具体的な施策に5年後の目標値を付けていきます。実施計画は毎年度、事業の見直しを行いながら、5年後の目標値達成につなげていくイメージです。

【会長】

どうもありがとうございました。他にご質問等はございますか。

【委員】

28ページのまちづくり基本理念で「人を中心に、共に支え合うまちづくり」の中の「人を中心に」という部分について、市では人以外で具体的に何か想定しているものはありますか。

【会長】

「共に支え合うまちづくり」でも良いのでは、ということですか。

【委員】

それでも良いですが、「人を中心に」を別な言葉に置き換えても良いかと思えます。私がヘビとかカエルを追いかけているので、人の傲慢さが少し見える気がします。

【会長】

なるほど。鳥や魚はどうでも良いのか、ということですね。
いかがですか？面白いご意見かと思えますが。

【事務局】

まちづくりの基本は「人」という事で、「人を中心」という書き方をしました。人以外を特定、意識した訳ではありませんが、これまでの歴史の中で、苦勞して開拓を進めてきた皆さんが、協力しながら町を作ってきたという事を表現するのに人を中心という書き方にしました。

【会長】

例えば「人々が共に」であれば良いですかね。

【委員】

それなら、すんなり納得ですが。「中心に」が少し気になりました。

【会長】

那須塩原市には牛もいますしね。

【委員】

昨日、特定外来種の問題があり頭に残っていたので、気になりました。

【会長】

本日の基本構想は、庁内で示した後で出していると思うので、この場で変更できるとは言えないと思います。ただし、まだパブコメもありますので、議論の余地はあるかもしれません。そういった意見があるということで検討してみてください。

【事務局】

はい。

【会長】

ありがとうございました。
説明は全て終わりですね。

【事務局】

はい。

【会長】

十分に時間はありますので全員からご意見をいただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【委員】

拝見させていただきました。

資料2の4ページ、体系図ですが、基本計画の中に基本施策の例が書かれています。これはあくまで例なので今後、議論されて確定していくとは思いますが、この段階で、「雇用」に関する記載がなかったのは是非、入れていただきたいと思います。資料1の27ページ「まちの活力を高めるために」という所に「雇用」がありますので、こちらに記載いただくと市民の方もすんなり理解いただけるのではないかと感じました。以上です。

【会長】

ありがとうございました。

基本計画はこれからですよ。雇用の話は、「活力を高める」もそうですし、色々な場所に雇用は影響してくるかと思います。どこかに整理して入れていただければと思います。

【事務局】

分かりました。

今、ご意見でいただいたとおり、スペースの都合上、全てお示しすることが出来なかったのですが、雇用につきましては第1次後期計画の中では、基本施策として記載しておりますので、今後、審議会の中でご意見をいただき整理されていくと思います。

【会長】

ありがとうございます。
次、お願いします。

【委員】

全体的に見た中で、高齢者の記載はありますが若者の記載がないと思いました。20代、30代、40代の力を見つけて引っ張り上げて、まちづくりに活かしていくという所が見えにくいと思いました。

また、NPOを応援するといった記載があると良いと感じました。NPOがNPOを応援するといった事を他では聞くので、市民団体がNPOや一般社団になるなど、市が実施しなくてはならない事業以外はなるべく民間団体に任せて、その活動が持続されるよう市では支援していくといった伴走型のものが生まれていくと良いと感じました。

【会長】

今のところは、例えば「市民協働を推進する」に書いてありますが、その並びに入ってくるかもしれませんね。ありがとうございました。
では、次お願いします。

【委員】

先ほどもお話がありましたが、雇用の関係について職業安定所では、11ページの5「活力を創出するまちづくり」の中で、若者の支援、子育てをする方への支援、また、UIJターンの取り組み、また誘致企業への取り組みなどについて、事業計画を策定して取り組んでいるところです。先ほどご説明がありました、基本計画5年間の基本施策の中で、例としては「農業の活性化」、「観光の活性化」等々、の記載がありますが、具体的に雇用に関わる施策等を盛り込んでいただければと思います。また、そうしたものにご意見を出していきたいと考えております

【会長】

ありがとうございました。
子育ての話が出てきましたが、次、お願いします。

【委員】

子育てに関して言えば、「子育て環境の充実」が基本計画に記載してあり、大変ありがたいことだと思いますが、日々、関わっていく中で、あまりに「やっってもらう」

子育て支援が充実しすぎていると感じており、やっってもらふ施策はきりが無いという気が正直しています。子ども・子育て会議に参加している中で、アンケート調査があった際の自由記述でも、例えば大田原市で給食費が無料になれば、なぜ那須塩原市では給食費が無料にならないのかという話になり、やっってもらふ事にはきりが無いと感じています。

私自身は今、子育て初期のお母さんとその子供たちと日々過ごしていますが、自分たちに無いものは自分たちで作るという方向に持っていけないかと日々、悪戦苦闘しています。お客様が求める施策ばかりを考えるのはどうかと思います。

もう1点は、駅前の活性化について、今、他の市町村では箱モノの建設がなくなりつつある中で、那須塩原市はまだ駅前には図書館が建つ、市民交流センターが建つなど、時代が逆行していると感じます。外に目が向いているので、実際に動かすソフトの部分に目を向けるような事を考えていかなければならないと感じています。

【会長】

ありがとうございました。

子育てに関して、非常にすばらしいご意見で、是非良いアイデアを出していただければと思います。

那須塩原市は合併して10年が経過して、様々な施設が点在していたところを今、合わせているのだと思います。施設が出来るのは幸せなことで普通は作れないところが多いわけです。ただし、そうした施設の維持管理については今後の財政に影響していく話だと思います。

では、次お願いします。

【委員】

基本政策の「豊かな自然と共に生きるために」について、基本施策での項目に農業の部分を追加してはどうかと思います。農業は今とても厳しい状況で、活性化までいなくても現状を保持するために「農業を維持する」という形で取り入れてはどうかと感じました。

【会長】

基本計画の中では、「まちの活力を高める」に農業が入っていますね。今の話では農業が様々な点に関係しているということですかね。例えば、「豊かな自然とともに生きる」という所にも農業が入ってくる。農業は、那須塩原市では畜産も含めて非常に重要な産業で、全体でも非常に大きなウエイトを占めていて、様々な所にかかってくると思います。これは基本計画を作るうえで多方面に該当してくると思います。ありがとうございました。

【委員】

すみません、よろしいですか。

移動しなければならぬものですから、先に発言してもよろしいですか。

【会長】

はい、どうぞ。

【委員】

資料1の9ページ6、「グローバル化の進展」ということで、オリンピック・パラリンピックなどの、外国の観光客向けの点について「旅行者の増加」が書いてあります。現在は1800人程度、那須塩原市に外国人が住んでいますけども、将来的には増加することも考えられる時代でございます。外国人の定住者に対して優しいまちづくりを国際交流協会では努力していますが、市民レベルで言いますと、外国人への優しい接し方、サービス等への浸透など、今後の課題だと思っています。そうした点についても加えていただけたら良いと思います。よろしくお願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。

宇都宮ですと外国人留学生も非常に多く、色々な交流があるわけですが、ここはそれほど人数が多くないけど、これから増える可能性があります。

【委員】

基本構想の中で、基本政策の裏付けとする数値目標について疑問があります。人口で言えば出生率、農業生産の出荷額、工業生産の出荷額、上場企業数など、細かな点の見える化についてどういった対応を取られるのか、というのが今日来た中での疑問点です。教えていただけるとありがたいです。

【会長】

前回の総合計画でも入っていると思いますが、事務局いかがですか。

【事務局】

基本構想の中での数値について、まず、基本構想で抜けている「人口ビジョン」については「推計される人口」と「目標とされる人口」の2つの視点で10年間の推計をしてまいります。その他の細かな数値については、基本計画での整理を考えております。

【会長】

実際は、あることが達成したかを図る良い指標が無いことがある。これは基本計画での議論になると思いますが、数値目標を示す必要はあるが、統計上取れない数値があることがある。例えば満足がどれくらいかといっても調べようがない。これはまたお知恵を拝借したいと思います。

次の方、お願いします。

【委員】

第1次総合計画の中に、「個性が輝く」といった文言が入っていましたが、今回はそれがちょっと薄められて「人が輝く」となっています。どちらかと言えば「つながる」「共生」ということで、人と人とが繋がり、助け合いながらそれぞれが認め合うことで地域を元気にする事は良いですが、個性が輝くという所が、まだ必要かと思えます。

いじめの問題にしても、解消されてきてはいますが、いじめや不登校が多い地域もあります。例えば男女共同参画や人権教育的なこともそうですが、1人1人が人として認められるといった側面を基本構想の中に入れる必要がある気がしています。具体的な施策の際に盛り込まれると思いますが、そうした考え方もきっちり残しておかなくてはいけないと思います。

もう一つ、重点プロジェクトですが、どんなものが出てくるか期待してしまいます。これは行政マンが皆さんで考えて作るということですか。

【会長】

この場で議論するわけですかね。

【事務局】

ある程度、事務局側で形をお示ししたいと考えています。それについてご意見をいただき検討していく形かと思えます。

【会長】

この場で議論はしますが、素案は、この場では出来ません。市が今まで実施してきた中で積み上げてきたものが、基本構想の考え方に沿って示されて、それを基に議論するといったことです。

どうもありがとうございます。

【委員】

「快適で便利な生活を支えるために」と「地域の力と交流を生み出すために」は一体だと思います。黒磯地区、東那須野地区、西那須野地区での商業的な交流はあるようで意外と無いです。また、国道4号線があり横断的には道はありますが、国道下の道路については、西那須野から黒磯に繋がっている道が1本もありません。たて道という大田原に行く道はあり一体化する感じになります。そうした中では道路整備が重要になってくると思います。それと下水道整備について、大田原地区との隣接地では都市計画的な部分で下水道が引張れない地区が多くありますので、そうしたことも基本計画で見直していただければと思います。

それと中心市街地活性化について、那須塩原市を皆さんが考えた時に、どこが中心

市街地か分からないと思います。黒磯と言えば黒磯、西那須野と言えば西那須野といった形でバラバラになっている。一体化するため、西那須野に関しては基盤整備が終わり、これからハードからソフトとなる中で商工会または産業観光課とタイアップして施策を作っていく訳ですけれども、黒磯地区はまだ形が見えない状況にありますので、これから基本計画の中で、具体的な施策にこうした細かな点も入れていただければと思います。

【会長】

10年後の那須塩原がどうなるか、というイメージの問題だと思います。中心商店街となると西那須野、黒磯は分かりますが那須塩原はどこかと聞かれると分からない。駅どうしは離れていますので、中心はいくつかあっても良いと思います。何となくのイメージが出てくると良いと思います。

ただし、下水道の普及率を上げるという話については、あまり追及しない方が僕は良いかと思っています。

【委員】

過日、下水道の審議会で答申書を市長に提出したところです。そこでは整備の問題、値上げ問題が出ましたので、市でも動いてくれるのではないかと期待しています。

【会長】

人が集まっていない所に引くと負担増になってしまう。

【委員】

大山地区はかなり住宅が建っていますが下水道がない。

【会長】

市全体として考えていくと、水道はかなり遠くまで持っていかなくてはならないが、下水道はよく検討する必要がある。

【委員】

ところが人があまりいない山の中に下水が通してある地区もある。

【会長】

それは廃止も含めた検討をした方がよい。そこにいる人は良いが維持管理費用が猛烈にかかる。そういう兼ね合いも含めて町が見えるようにしていただきたいと思います。

では、次お願いします。

【委員】

まず、資料1の4について、先ほどのお話でもあったかと思いますが、下水道の件について、最初に合併処理浄化槽を作る際は市から補助されますが、最初だけなので、そういう地区に関しては、その後の部分でも市から少し負担をするなど、きちんとした説明がないと後で住んだ側の不安感につながるのではないかと思います。

それと、多くの公共施設が老朽化していると思いますが、他県では空き家を若者の手でオシャレにリノベーションする動きがあります。それを市がやるとすごくお金がかかるため、若者向けにリノベーションのワークショップを開催して自分たちが日曜大工で変えていけることを示し、若者の移住、定着を促せたら良いと思いました。

食に関して、今年で4年目になるキッズ料理アイデアコンテストを那須塩原で開催しておりますが、気づいた点として自分たちの住んでいる地域のおいしいものが何か、きちんと理解されていないと感じました。栃木県自体もそうですが、那須塩原市に関しても、たくさんありすぎる野菜など、種類を並べても子供たちの記憶には残っていないですね。

何がどう作られて、それを食べておいしかった、これが有名だというものを大人になり外に出た時に発信していけるように、もう少し深く学ぶと良いと思いました。例えば、生乳が本州一と言っていますが、子供達の中では生乳が何か分からないので、生乳は牛乳やチーズの原料であることを教えていく事が必要かと思いました。

あとは、給食に関しても生野菜は基本、食中毒を防ぐという目的で少ないですが、那須塩原市の良いところは多くの農家があっておいしい野菜がある所なので、全て加熱してしまうと本来のおいしさが子供達に伝わらないと思うので、給食のあり方を少し独自に市として進めていくと良いと思いました。

また、スポーツ振興において、資料1の14ページ、教育、生涯学習の場所ですが、市民1人1人のスポーツの更なる推進とありますが、那須塩原市ではロードバイクのプロチームがあります。2017年には「ツール・ド・とちぎ」というレースが栃木県内各地域で開催され、2020年東京オリンピックの種目にも加えられます。せっかくこちらのチームがあるので、これからの子供達のスポーツとして興味を持たせることで、市がPRしていく上で良い方向に行くと思います。

【会長】

ありがとうございました。

宇都宮ですと自転車のプロチームがあり、毎年レースやイベントを開催して、自転車のまちとしてPRしています。那須塩原市にもあるとのことですが、ここだけでやるのは難しいと思います。今の話は、那須塩原にある様々な資源について、知っていただき活用するという事かと思いますが。

食に関して、私も東京から宇都宮に来ていまして、野菜は美味しい、こちらに来れば牛乳がものすごくおいしい、魚はおいしくない。野菜だけで他と十分戦えるものがあるので、良い資源について計画に入れていければ皆の自身につながるし、那須塩原の資源を理解していけると思います。

どうもありがとうございました。

次、お願いします。

【委員】

消防団は、常日頃から市民の生命財産を守りということをモットーに動いています。皆さんもご存じのとおり日本全国、水害、地震がピンポイントで来ています。市役所でも今は自主防災という形で地域の方たちに協力を募っておりますが、それほど集まっていないのが現状だと思います。

3年前、市長に言われて震災のあった、いわき市に行きまして、市でスライドを見せていただきましたが、給水、毛布、服の配布などは全て消防団によるものでした。そうした点について我々も努力して行こうと思います。今は1430人ほどで活動していますが、消防団員の増加については協力を願えればと思います。

先ほど、雇用について出ましたが、塩原での公共施設の管理運営については問題があると思います。施設を建設した後の施設管理をする事業者を良く考えないといけないと思う。一般からやる気のある人を募集して委託するなど、事業者について考えないと何一つ活性化しないと思うし、現状としても活性化しているようには見えない。今の若い方はすばらしい考えを持っている人がいると思うので、そうしたところから募集して活性化が出来れば良いと思います。以上です。

【会長】

ありがとうございます。

今の話の1つとしては、まちづくりの基本理念に「共に支え合うまちづくり」という形があり、消防団の活動はまさにそれに該当するわけです。共に支え合っていくということで、基本構想の中でも「まちの安全安心を守るために」の中で是非そういう点についても触れていただければと思います。

【委員】

最近、自治会の加入率が減少傾向にあります。那須塩原市では65%程度でしょうか。そのために孤独死の問題、あるいはゴミの問題、育成会の通学路の問題など、今後ますます増えるだろうと思われまます。自治会では加入率の向上に伴う地域の活性化、加えて高齢者とのコミュニケーションを推進したいです。自治会に加入していないと回覧も回らない訳ですので。ゴミ問題については市として初期対応をしていただいておりますが、アパートに入ってしまうとそれは関係なくゴミは散乱しているのが実情です。

「快適で明るいまちづくり」の中に自治会の活性化といった点を入れていただければと思います。自治会に入らないと、お祭りの問題、通学路の問題、PTAには入るけど行政には入らないなど、子供達に全てしわ寄せが行ってしまう。人と人、子供達と高齢者が、つながる必要があると思います。

【会長】

自分たちが支え合うべきまちだ、という意識が出てくれば良いと思います。基本構想の中で、皆がどうなって支え合えばといったことが出れば良い。ただ、自治会の加入率はどこでも下がっていますが、これは市役所がいくら言っても駄目で意識の問題がかなりあると思います。でも重要な問題だと思います。

では、次お願いします。

【委員】

設計に関して、資料1の13、14ページの4と5で、まちづくりや空き家について読んでいく中で耐震化、長寿命化という所がありますが、那須塩原市での耐震における補助制度は近隣市と比べて少なく、国がやっている補助くらいしかやっていない。耐震化をやるのであれば補助制度も充実をしていただきたいと思います。

4の下水道関係で、5年前の震災で公共下水道については一度壊れると用が足せなくなるという事が明確になっていまして、都市部では整備が必要だと思いますが、農村部で1戸1戸が離れている所は浄化槽で整備した方が良くと思います。

5の空き家について、仕事では用途変更を多く手がけていますが、建築指導課において検査済証が発行されている建物においても現行法上では全然できておらず、工事でも全然施工されていない。そうした建物において、建築基準法や消防法などをクリアするための補助制度も必要ではないかなと思います。

今日の話は案に対してのものではなく、その後ろを支える制度の話で、そうした点を充実させる必要があると思います。以上です。

【会長】

色々な施策、計画が出てきて、それに対するフォローを含めて計画を進めてくださいという事ですね。どうもありがとうございます。

次の方お願いします。

【委員】

スポーツに関しては、「未来を拓く」に入るかと思いますが、その基となります「スポーツ基本法」の理念を尊重していただき、市の目標としています「健康で活力に満ちた生活を目指す生涯スポーツの推進」が大きな柱だと思います。

いつでも、誰でも、どこでも、いつまでも、という言葉で合言葉に生涯スポーツの推進を図るべきだと思いますし、高齢者や最近話題となっています障害者、障害者と言いますとスポーツには無縁との考えがありますが、障害者に対してのスポーツの提供、それから施設の整備などを市の第2次総合計画の中では考えていかなければならないと思います。

具体的な事業については実施計画、2年間のローテーションでやっているかと思いますが、ここには私たち細かな口出しはできませんが、機会があれば実施計画のローリングの際に審議会に意見を求めていただければ、それなりの回答を出させていただきますと思います。

【会長】

ありがとうございました。

【委員】

「雇用」及び「農業」に関して、計画に取り入れていただければと思います。

市の組織について、観光協会では塩原、西那須野、黒磯と分かれていて、消防にしても那須、塩原、黒磯と分かれていて、またスポーツ等でも分かれていて、それぞれ地区での昔の体制を引き継いでいると思います。もう10年も過ぎたので1つまとまった形で進んでも良いと思うのが意見です。

【会長】

地域が独立している所ですから、全体としてのまとまりが基本構想や基本計画に出てくるまでにはもう少しかかると思います。前にも話しましたが、まちが完全に一緒になるのは20年かかると言われています。第3次の構造では出てくるかもしれない。その時は、委員の数もぐっと減ってきているかもしれませんし、各地区代表にならないで済むかもしれません。

【委員】

一番心配になるのは人口減です。原因はたくさんあると思います。一つは若手の養成や子育て環境を充実させる施策など、あるいは高校生の流出が無くなるような雇用対策になると思います。

下水道や道路の問題について、改善すればという話もありますが、大きな人口減少が起きてしまうと意味がなくなってしまう可能性もありますが、5年10年の計画の中では読みにくいところがあるとは思いますが、那須塩原は、比較的住みやすく環境も良好で、まちの中心が、黒磯、東那須野、西那須野に点在しており、総合的にみると非常に幅の広い県北の市だと言われています。それをうまく活用して住む方の希望が取れるような雇用体制が出せれば、人口減少を防げることになると思います。人口が減らないことを一つ考えていただければと思います。

【会長】

では、最後をお願いします。全体のまとめという形でも良いです。

【委員】

皆様からのご意見には関心するばかりで、意識の高い方の集まりだというのが率直な意見です。私からは教育に関してお話しをさせていただきます。

先ほど給食に関するお話がありましたけど、2、3年前に那須牛のシチューが学校給食に出ましたが、とても美味しく、こうした食の記憶はおそらく一生残ると思います。味覚が発達しつつある、小さい頃に備わった食の記憶は、おそらく死ぬまで那須

塩原への愛着として残り続けるのではないかと思います。

食からのアプローチは人の記憶に残ると思ひまして、そうしたところから小学校、今まさにこの子達が基本構想の10年後、若者として20代になった時、那須塩原から巣立ち世界に羽ばたいている、東京に行っている、また地域で活躍している方もいるとは思いますが、戻ってきてもらうための重要なファクターになるのではないかと思います。

その意味において、15ページにあるように、市民がまちづくりに関わる、まちづくりに関心を高める、といった子供達に関わるための「こどもサミット」といったものがあれば良いと思ひます。我々大人が子どもたちに仕掛けていっても良いのではないかと思います。以上です。

【会長】

ありがとうございます。

小学校の時の給食で脱脂粉乳を飲まされましたが生ぬるくてまずい。その後、牛乳を飲んで牛乳は美味しいなと思う。また、くじらの肉を食べたが固い。そうした食のイメージは今でも残っている訳です。そういう点は本日のユニークな意見ということで、計画の中に少しでも取り入れられるよう調整をしてみてください。どうもありがとうございました。

他に言い残したところがありますか。よろしければ、これで会は終わりにしたいと思ひます。

【事務局】

ありがとうございました。

本日はどちらかと言えば報告的なもので皆様にご議論いただく内容ではなかったかと思ひます。次回は8月頃を予定しておりますが、この時には先ほどお示ししました基本計画について、ある程度見える形になるかと思ひますので、また更にご意見をいただければと思ひます。今回は例示として、それぞれ1つの基本政策に基本施策が2つくらいでしたが、基本政策の中には基本施策が5つ、6つあるいはもっと多いところも出てくるかと思ひます。そうなれば皆様の方でも、より具体的にイメージしていただければと思ひます。

本日は忙しい中ありがとうございました。